

## 平成28年度大南地区上空付近航空機騒音測定

大南地区上空付近を飛行する航空機の騒音の実態を把握するため、大南地区学習等供用施設屋上に航空機騒音測定機を設置し、年2回(14日間)、航空機騒音の測定を行っています。

### 航空機騒音測定結果

測定月日	* Lden (dB)	最大値 (dB)	騒音発生回数 (回)
8月3日	47.6	77.1	33
8月4日	48.4	76.7	26
8月5日	49.7	81.3	35
8月6日	47.0	77.8	15
8月7日	37.4	74.2	3
8月8日	42.5	74.7	12
8月9日	38.5	70.8	7
9月30日	51.1	81.4	18
10月1日	46.4	79.3	9
10月2日	38.3	73.5	4
10月3日	-	-	0
10月4日	45.2	73.4	29
10月5日	45.6	80.2	23
10月6日	44.9	76.8	30
合計			244
平均値	46.2	76.7	17.4

※ Lden(エルデン)とは、時間帯補正等価騒音レベルのことをいいます。単位はdB。最大騒音値を評価するWECPNLと異なり、1機ごとの航空機の騒音の聞こえ始まりから終わりまで、人が受ける騒音のエネルギーを評価するものです。また、旧環境基準のWECPNLでは、評価の対象とならなかった定常的な航空機騒音(エンジンテスト、滑走路への移動音等)も測定・評価することとなっています。